

福祉サービス系列授業「生活支援技術」 外部講師を招いて 『医学の基礎知識』を学びました。

「医学の基礎知識」と題して、愛知県厚生連稲沢厚生病院の看護部長である牧田久仁子様を招いて、3年生福祉サービス系列6名の生徒を対象に講義を行っていただきました。

牧田看護部長は看護師の視点から高齢者を支えるためにはどうすればよいのか、ということをとくさんのデータをもとにして講義されました。高齢者の加齢による変化を丁寧に説明していただき、昔を思い出して記憶を呼び起こす回想法に役立つ道具などを紹介していただきました。また、高齢者への心理的援助として、「ありのままに尊重し、認め、受け入れること」が大切であることを話され、受容と共感が大切であることを学ぶことが出来ました。今回の講義を生かし、さらに介護の知識を増やしていきたいと思います。



床のマス目を使ったレクリエーションをしました。